

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	市民農園開設事業			事業コード	0587
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	工藤 博貴	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 3目 市民農園開設事業(009-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和62年度~)		
事務事業の概要	盛岡地域に農業者が開設するファミリー農園を支援することにより、市民が農業に対して理解を深めてもらうことを目的とする。					
根拠法令等	特定農地貸付法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市民に農作業の場を提供するために、農家が開設主体となり、市が支援する形態で昭和62年から継続しているもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
近年、農園利用希望者が増加傾向にある。一部の農園について近隣住民から利用者の使い方について苦情がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
農業や農政への理解を深めてもらうため、農業体験の機会を増やす必要性はより高まっている反面、行政が主体となり農園を開設する必要性が薄れている。今まで、農業者以外が農地を賃借することは農地法で禁じられていたため、農業者が農業指導を行い、指導料として料金を徴収する「農園利用方式」で開設していた。なお、平成14年に特定農地貸付法が制定され、農業者が自ら市民農園を開設できるようになった。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	千人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市の広報紙やホームページに利用者募集の広告を掲載し、園主との連絡調整を図りながら、円滑な市民農園の運営を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 市の広報紙やホームページに利用者募集の広告を掲載し、園主との連絡調整を図りながら、円滑な市民農園の運営を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 箇所数	単位	箇所
				B. 区画数	単位	区画
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	農作業を行い野菜等を自ら栽培、収穫することにより、農業への理解を深めるとともに、市民のレクリエーションの場を提供する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 受け付けた区画数	単位	区画
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】		
				B.	単位	
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
				C.	単位	
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位: 人)		
				農業純生産額(単位: 百万円)		
				林業純生産額(単位: 百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	千人	297	297	297	297	298	298	26年度 298
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	箇所数	箇所	8	8	9	9	9	9	26年度 9
活動 指標B	区画数	区画	255	255	318	318	318	318	26年度 318
活動 指標C									年度
成果 指標A	受け付けた区画数	区画	255	255	318	318	318	318	26年度 318
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2	36	14	14	14	14	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	2	36	14	14	14	14	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2	36	14	14	14	14	*****
	延べ業務時間数	時間	240	240	240	240	240	240	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	960	960	960	960	960	960	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	962	996	974	974	974	974	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	<p>① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 農業体験を直に体験することにより、農業に対する理解は深まり、市民にとって農業が身近になる機会になるばかりでなく、農業者にとっては、水田の転作や耕作放棄地の防止ひいては農業の活性化に結びつく。
	<p>② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？</p>	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	<p>③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市民農園の名前のとおり、市民を対象としているので妥当である。 ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	<p>④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？</p>	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 現状の事業目的、手法から妥当である。 ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	<p>⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 現状の周知方法(市広報、ホームページ)で十分である
	<p>⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？</p>	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市の広報紙やホームページに利用者募集の広告の掲載を止めることで、市民農園の利用者が減少する。
	<p>⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？</p>	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	<p>⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現在、市民農園の開設に係る費用は開設者が負担しており事業費は最低限のものである。
	<p>⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 市では農園のPR等最低限の支援を行っている。
公平性評価	<p>⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市の広報誌、ホームページで広告を行っており、希望者が多い場合には抽選により利用者を決定している。
	<p>⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？</p>	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 同じ料金設定である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 市民農園の面積の増加は、個々の開設者の意向による。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 市民農園への土地の提供については農業者の意思によるところが大きい。土地の利用法について農業者から相談等があった時は、市民農園への土地利用もあることを紹介する。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>市内の市民農園について、利用者募集の広報活動を適切に実施した。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
	<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>農作業体験による食育の効果はもとより、耕作放棄地の利用にもつながることから、市民農園を更に盛んにしていく必要があり、事業を継続する。</p>											